

第16章 災害・消防・警察・海上保安

1	災 害	359
16-1	平成25年中の台風・大雨等による被害状況	360
16-2	市町村別台風・大雨等による被害状況	360
16-3	年次別台風・大雨等被害状況	361
2	消 防	362
(1)	火災発生状況	
(2)	消 防 現 勢	
16-4	市町村別の火災発生状況	363
16-5	月別火災発生状況	363
16-6	原因別火災発生状況	364
16-7	大火災発生状況（損害額2,000万円以上）	364
16-8	消 防 現 勢	364
3	警 察	365
(1)	交通事故発生状況	
(2)	刑法犯発生状況	
16-9	市町村別交通事故発生状況	366
16-10	刑法犯市町村別発生状況	367
4	海 上 保 安	368
16-11	海難事故の発生状況	368
16-12	海上における人身事故	369
16-13	機動力（巡視船艇）	369
16-14	民間救助組織	369
16-15	船舶交通安全協議会	370
16-16	奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況	370
16-17	奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会	370

1 災 害

平成25年には、10月7日から8日にかけて台風24号が非常に強い勢力を保ったまま奄美地方に接近し、特に与論町では住家等に大きな被害が発生した。

人的被害については、台風23号により与論町において1名の重傷者が発生した。

また、被害額については、約8億9千万円となり、昨年と比べて約68億5千万円の減少となった。項目別では、農林水産被害が約3億6千万円（被害総額の約40.9%）で最も多く、次いで農林水産業施設の約2億6千万円（同29.5%）などとなっている。

16-1 平成25年中の台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

期 間	台 風 大 雨 等	人的被害 (人)		住 家 被 害 (棟)					非住家 被 害 (棟)
		死 亡 不 明	負 傷	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
25.10. 4~10. 6	台風23号	0	1	0	0	3	0	0	2
25.10. 7~10. 8	台風24号	0	0	38	187	840	0	0	309
25.10.24~10.25	台風27号	0	0	0	0	40	0	0	17
合 計		0	1	38	187	883	0	0	328

※期間は、災害警戒本部設置から廃止までの期間である。

16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
期間：平成25年1月～12月
単位：千円

区 分 市町村名	人的被害 (人)	農林水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
奄 美 市	0	50	0	0	10,457	0	10,507
大 和 村	0	0	0	0	0	0	0
宇 検 村	0	0	0	0	0	0	0
瀬 戸 内 町	0	0	20,200	0	0	0	20,200
龍 郷 町	0	0	0	0	0	350	350
喜 界 町	0	300	450	9	81,416	0	82,175
徳 之 島 町	0	0	0	0	0	0	0
天 城 町	0	0	1,500	0	2,425	0	3,925
伊 仙 町	0	500	0	0	13,510	0	14,010
和 泊 町	0	17,579	0	26,400	105,024	0	149,003
知 名 町	0	26,155	0	0	63,846	0	90,001
与 論 町	1	217,302	10,300	48,404	86,624	155,000	517,630
合 計	1	261,886	32,450	74,813	363,302	155,350	887,801

資料：大島支庁総務企画課
 期間：平成25年1月～12月

被 害 金 額 (単位：千円)										備 考 被害地域等
農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	林 産 被 害	畜 産 被 害	水 産 被 害	商 工 被 害	そ の 他	計	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	与論町
260,766	11,800	74,804	225,284	0	6,800	0	155,050	0	734,504	奄美群島全域
1,120	20,650	9	131,218	0	0	0	300	0	153,297	奄美群島全域
261,886	32,450	74,813	356,502	0	6,800	0	155,350	0	887,801	

16-3 年次別台風・大雨等被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：千円

年次	区 分	住 家 等	農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
	平成 14		476,376	246,234	313,700	108,825	958,647	184,938
15		58,387	50,426	306,525	44,757	815,988	126,567	1,402,650
16		—	395,149	2,070,314	327,493	1,669,073	312,971	4,775,000
17		—	226,395	915,665	109,980	127,524	39,612	1,419,176
18		—	17,000	109,597	700	19,380	7,500	154,177
19		—	20,130	333,400	87,607	216,495	47,230	704,862
20		—	34,742	100,547	2,000	682	176	138,147
21		—	26,162	899	6,290	68,897	570	102,818
22		—	3,114,301	2,995,324	388,800	222,117	1,273,876	7,994,418
23		—	1,062,056	1,547,635	500,010	2,052,668	766,042	5,928,411
24		—	1,453,380	2,722,122	604,918	2,339,458	614,400	7,734,276
25		—	261,886	32,450	74,813	363,302	155,350	887,801

(注)「住家等」については、平成16年度以降、集計されていない。

2 消 防

(1) 火災発生状況

平成24年中の火災発生件数は56件で、前年に比べ16件減少しており、約6.5日に1件の割合で火災が発生したことになる。

市町村別では、奄美市が15件（奄美群島全火災の26.8%）で最も多く、次いで、和泊町12件、天城町・知名町各6件、喜界町・与論町各4件、徳之島町3件、龍郷町・伊仙町各2件、大和村・瀬戸内町各1件、宇検村0件の順となっている。

人口（平成24年3月31日住民基本台帳による）1万人当たりの出火件数を表す出火率では、和泊町の17.1が最も高く、次いで天城町・知名町の9.1、与論町の7.4、大和村の6.0、喜界町の5.0の順となっている。

火災種別にみると、「建物」火災が36件（奄美群島全火災の64.3%）で最も多く前年に比べ3件の増加、次いで「その他」火災（田畑の野焼き等の火災）が15件（同26.8%）で前年に比べ12件の減少、「車両」火災が5件（同8.9%）で前年に比べ4件の減少、「林野」火災が0件（同0%）で前年に比べ3件の減少、「船舶」「航空機」火災が各0件（同各0%）となっている。

火災による死者は2人で、前年に比べ4人の減少である。また、負傷者は3人で前年に比べ3人の減少となっている。

焼損棟数は65棟で前年に比べ13棟の増加、り災世帯数は42世帯で前年に比べ15世帯の増加、り災人員は104人で前年に比べ51人の増加となっている。

損害額は159,700千円で、前年に比べ6,591千円の減少で、火災1件当たり約2,852千円、1日当たり約436千円が灰になったことになる。

損害額2千万円以上の大きな火災は、徳之島町で1件発生している。

出火原因では、「こんろ」が7件（全火災の12.5%）で最も多く、次いで「火入れ」6件（同10.7%）、「たき火」5件（同8.9%）、「電灯・電話等の配線」「電気装置」各4件（同各7.1%）の順となっている。

(2) 消 防 現 勢

消防本部数は前年と変わらず3本部となっている。消防職員は238人で前年と比べ2人増加し、条例定員に対する充足率は、97.5%である。

また、消防吏員236人の平均年齢は41.0歳となっている。

消防団数は12団で前年と変わりはないが、消防分団数は91分団で、前年に比べ3分団増加している。消防団員は、1,552人で前年に比べ12人減少し、平均年齢は41.7歳で条例定員に対する充足率は94.6%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ等の消防機械のうち、ポンプの充足率は100%（平成24年4月1日時点（3年に1回調査））となっており、救急自動車の所有台数は前年と変わらず21台となっている。

また、火災鎮圧のため必要不可欠な消防水利については、平成24年4月1日時点で充足率68%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ及び消防水利充足率の県平均は、平成24年4月1日時点で消防ポンプが91%、消防水利は64%であり、消防ポンプ充足率、消防水利充足率ともに県平均以上となっている。

16-4 市町村別の火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
 期間：平成24年1月～12月

市町村名	出火件数							損害額(千円)							
	計	建物	林野	車両	船舶	航機	その他	計	建物	林野	車両	船舶	航機	その他	爆発
奄美市	15	11		1			3	29,881	29,532		320				29
大和村	1	1						10,455	10,455						
宇検村															
瀬戸内町	1	1						12,624	12,594		30				
龍郷町	2	1					1	7,870	7,870						
喜界町	4	1		1			2	52	42		10				
計	23	15	0	2	0	0	6	60,882	60,493	0	360	0	0	0	29
徳之島町	3	2		1				43,634	43,354		280				
天城町	6	3		2			1	1,835	1,261		280			294	
伊仙町	2	2						10,848	10,848						
計	11	7	0	3	0	0	1	56,317	55,463	0	560	0	0	294	0
和泊町	12	7					5	21,604	21,604						
知名町	6	4					2	17,700	17,661					39	
与論町	4	3					1	3,197	3,197						
計	22	14	0	0	0	0	8	42,501	42,462	0	0	0	0	39	0
合計	56	36	0	5	0	0	15	159,700	158,418	0	920	0	0	333	29
平成23年	72	33	3	9	0	0	27	166,291	155,265	0	10,659	0	0	367	0
比較	△16	3	△3	△4	0	0	△12	△6,591	3,153	0	△9,739	0	0	△34	29

市町村名	焼損棟数					り災世帯数				り災人員	死傷者		損害面積		1件当たりの損害額(千円)
	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		死者	負傷者	建物床面(m ²)	林野(a)	
奄美市	21	6	1	7	7	19	4	1	14	47	2	700		1,992	
大和村	1	1				1	1			2		57		10,455	
宇検村															
瀬戸内町	7	1		4	2	5	1		4	10	1	166		12,624	
龍郷町	2	1		1		1	1			2		83		3,935	
喜界町	1				1	1		1	3					13	
計	32	9	1	12	10	27	7	1	19	64	1	1,006	0	2,647	
徳之島町	2	1	1									291		14,545	
天城町	3	2		1		2	2			7		160		306	
伊仙町	5	4	1			3	3			5		319		5,424	
計	10	7	2	1	0	5	5	0	0	12	0	770	0	5,120	
和泊町	13	9		1	3	5	4		1	10	1	526	57	1,800	
知名町	5	4			1	3	3			11		565	13	2,950	
与論町	5	1		2	2	2			2	7		23	1	799	
計	23	14	0	3	6	10	7	0	3	28	1	1,114	71	1,932	
合計	65	30	3	16	16	42	19	1	22	104	2	2,890	71	2,852	
平成23年	52	24	4	10	14	27	12	2	13	53	6	2,681	14	2,310	
比較	13	6	△1	6	2	15	7	△1	9	51	△4	△3	209	57	542

※火災種別が2以上複合する火災は、焼き損害額の大なるものの種別に計上。

16-5 月別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
 期間：平成24年1月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	1	5	10	2	4	3	4	3	7	11	3	3	56
前年件数	10	11	10	7	7	3	3	6	1	3	3	8	72
増減数	△9	△6	0	△5	△3	0	1	△3	6	8	0	△5	△16

16-6 原因別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成24年1月～12月

順位	(1)	(2)	(3)	(4)	(4)	(6)	(6)	(8)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)			—	—	—
	こんろ	火入れ	たき火	電灯・電話等の配線	電気装置	たばこ	配線器具	灯火	放火	風呂かまど	火遊び	放火の疑い	かまど	マッチ・ライター	電気機器	ストーブ	交通機関内配線	その他	不明・調査中	計
件数	7	6	5	4	4	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	7	8	56
前年件数	8	16	5	4	1	4	1	1	5	3	2	2	0	1	0	3	2	10	4	72
前年順位	(2)	(1)	(3)	(5)	(12)	(5)	(12)	(12)	(3)	(7)	(9)	(9)		(12)		(7)	(9)	—	—	—
増減数	△1	△10	0	0	3	△1	2	1	△4	△2	△1	△1	1	0	1	△3	△2	△3	4	△16

16-7 大火災発生状況（損害額2,000万円以上）

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成24年1月～12月

出火月日	出火時刻	市町村名	火元の用途	原因	焼損棟数	り災世帯	り災人員	死者	負傷者	焼損面積(m ²)	損害額(千円)
10月19日	不明	徳之島	遊技場	不明	1					42	34,500

16-8 消防現勢

資料：鹿児島県消防保安課
期日：平成25年4月1日

区分 市町村名	消防団 (消防本部)		消防団(職員)			消防ポンプ等							消防水利				
	団本部数	分団数	条例定数	現員	平均年齢	自消防ポンプ車	ボクソポンプ	付は消防ポンプ	小型動力ポンプ	救急自動車	その他	ポンプ充足率	消火栓	防火水槽	その他	充足率	
奄美市	1	16	452	417	43.4	8	2	-	37	5	-	2	-	427	141	33	-
大和村	1	5	52	48	41.0	1	1	-	9	-	-	-	-	-	28	9	-
宇検村	1	7	82	78	42.1	1	1	-	7	-	-	1	-	6	31	2	-
瀬戸内町	1	4	130	127	47.6	1	1	-	15	32	-	-	-	65	63	4	-
龍郷町	1	4	153	145	43.1	2	3	-	3	7	-	-	-	47	67	5	-
喜界町	1	10	130	129	38.9	2	2	-	7	1	-	2	-	-	129	5	-
大島地区消防組合	1	-	157	154	40.2	2	5	2	-	-	13	13	100	-	-	-	69
徳之島町	1	11	161	154	41.5	2	5	-	10	2	-	1	-	30	92	11	-
天城町	1	3	80	80	42.4	1	1	-	1	2	-	2	-	57	58	16	-
伊仙町	1	8	74	65	42.0	1	1	-	-	2	-	2	-	31	52	1	-
徳之島地区消防組合	1	-	49	46	44.3	-	3	-	-	-	4	1	100	-	-	-	64
和泊町	1	7	120	116	38.9	1	6	-	2	1	-	2	-	-	82	-	-
知名町	1	13	135	129	34.5	2	7	-	5	-	-	-	-	119	129	4	-
与論町	1	3	72	64	40.5	2	4	-	-	-	-	-	-	67	76	29	-
冲永良部与論地区	1	-	38	38	40.5	-	2	-	-	-	4	4	100	-	-	-	70
広域事務組合	(本部)	-	244	238	41.0	2	10	2	-	-	21	18	100	-	-	-	68
計	団12	91	1,641	1,552	41.7	24	34	-	96	52	-	12	-	849	948	119	-

注1 消防職員の平均年齢は消防吏員の平均である。
注2 ポンプ充足率及び消防水利充足率は、平成24年4月1日時点（3年に1回調査）の数値である。

3 警 察

(1) 交通事故発生状況

平成25年の交通事故の人身事故発生件数は、254件で前年に比べ31件減少した。

交通事故による死者は6人で、前年に比べ2人減少、傷者については297人で36人減少した。

件数を市町村別にみると、奄美群島で件数の最も多いのは奄美市の110件（全体の43.3%）で、次いで徳之島町の31件（同12.2%）となっている。また、島別に件数の割合をみると、奄美大島が150件59.1%、喜界島が8件3.1%、徳之島が62件24.4%、沖永良部島が26件10.2%、与論島が8件3.1%となっている。

死者は、徳之島町で2人、奄美市、宇検村、龍郷町、伊仙町で各1人の合計6人で、前年に比べ徳之島町が1人増加している。

人口1万人当たりの死傷者数は、宇検村、天城町が33人、龍郷町、伊仙町が32人となっており、最も少ないのは喜界町の12人となっている。

(2) 刑法犯発生状況

平成24年の刑法犯の総認知件数は、488件で前年に比べ39件の減少となっている。

市町村別にみると件数が最も多いのが、奄美市の231件（全体の47.3%）で前年と比べると61件の減少、次いで徳之島町の57件（11.7%）で前年に比べ10件増加した。

罪種別にみると、窃盗犯が318件（全体の65.2%）と犯罪の大部分を占めている。

なお、検挙件数は227件となっている。

16-9 市町村別交通事故発生状況

資料：県警察本部交通企画課
 期間：平成25年1月～12月
 単位：人，件，台数

区分 市町村名	人口	件数 (人身)	死者	傷者	前年比増減			車両台数			人口1万人 当たりの 死傷者数
					件数 (人身)	死者	傷者	原付・自二 特殊農耕	自動車	合計	
総数	114,234	254	6	297	-31	-2	-36	24,276	77,961	102,237	26.5
奄美大島	63,347	150	3	181	-3	-1	-5	9,937	38,783	48,720	29.0
奄美市	44,544	110	1	127	-3	-1	-6	7,681	26,247	33,928	28.7
大和村	1,630	3		4			1	113	1,105	1,218	24.5
宇検村	1,843	4	1	5			-3	130	1,429	1,559	32.6
瀬戸内町	9,355	21		27	7		13	1,418	5,696	7,114	28.9
龍郷町	5,975	12	1	18	-7		-10	595	4,306	4,901	31.8
喜界島	7,632	8		9	-6		-7	1,684	4,896	6,580	11.8
喜界町	7,632	8		9	-6		-7	1,684	4,896	6,580	11.8
徳之島	24,582	62	3	73	-7		-5	5,123	20,411	25,534	30.9
徳之島町	11,632	31	2	32	-2	1	-2	2,485	8,820	11,305	29.2
天城町	6,346	15		21	6	-1	8	1,486	5,649	7,135	33.1
伊仙町	6,604	16	1	20	-11		-11	1,152	5,942	7,094	31.8
沖永良部島	13,395	26		26	-15	-1	-19	5,253	10,588	15,841	19.4
和泊町	6,919	13		13	-10	-1	-11	2,660	5,676	8,336	18.8
知名町	6,476	13		13	-5		-8	2,593	4,912	7,505	20.1
与論島	5,278	8		8				2,279	3,283	5,562	15.2
与論町	5,278	8		8				2,279	3,283	5,562	15.2

注：1 人口は平成25年10月1日現在
 2 車両台数は平成25年3月末現在
 3 奄美大島には、加計呂麻島，諸島，与路島を含む。

16-10 刑法犯市町村別発生状況

資料：鹿児島県警察本部刑事企画課
期間：平成24年1月～12月

市区町村	包括罪種		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	総計	平成23年 の状況
奄美市	認知		1	20	171	4	1	34	231	292
	検挙		1	16	78	3	0	18	116	116
大和村	認知		0	0	3	0	0	1	4	0
	検挙		0	0	0	0	0	0	0	0
宇検村	認知		0	2	0	0	0	0	2	1
	検挙		0	1	0	0	0	0	1	0
瀬戸内町	認知		1	9	15	1	0	8	34	32
	検挙		1	9	8	1	0	6	25	15
龍郷町	認知		0	1	9	2	0	3	15	19
	検挙		0	1	7	2	0	1	11	8
喜界町	認知		0	5	9	4	0	5	23	20
	検挙		0	5	3	4	0	1	13	6
徳之島町	認知		0	7	31	1	1	17	57	47
	検挙		0	6	5	0	1	6	18	17
天城町	認知		0	4	19	2	0	7	32	30
	検挙		0	2	5	2	0	3	12	9
伊仙町	認知		1	2	20	1	0	3	27	37
	検挙		1	2	7	1	0	2	13	12
和泊町	認知		0	4	16	0	0	6	26	19
	検挙		0	3	1	0	0	1	5	13
知名町	認知		0	2	17	0	0	6	25	19
	検挙		0	3	4	0	0	0	7	21
与論町	認知		0	1	8	2	0	1	12	11
	検挙		0	1	2	2	0	1	6	6
総計	認知		3	57	318	17	2	91	488	527
	検挙		3	49	120	15	1	39	227	223

※検挙件数については、発生地計上方式をとっている。

包括罪種の内訳

- 凶悪犯……殺人，強盗，放火，強姦
- 粗暴犯……暴行，傷害，脅迫，恐喝など
- 窃盗犯……窃盗
- 知能犯……詐欺，横領，偽造など
- 風俗犯……賭博，わいせつ
- その他の刑法犯……上記以外の刑法犯

4 海上保安

奄美海上保安部管内において、平成24年に発生した船舶海難は、11隻であり前年に比べ1隻減少した。

種類別に見ると乗揚、衝突、機関故障の順となっている。原因別では、見張り不十分、船体機器整備不良、船位不確認などの人的ミスによるものが大半を占めている。

また、平成24年の人身事故者数は30名であり、昨年と比べ1名減少している。事故種類別としては、昨年と変わらず、遊泳中及び磯遊び中の事故割合が高く、遊泳や磯遊びを行う場所についての知識不足や技能不足が主な原因で、群島外からの観光客や帰省客による事故が多く発生した。

海難発生時の救助活動は時間との闘いでもある。よって広い奄美の海域では、漁協や海上工事業者などを主体とする民間救助団体の組織化及びその協力は不可欠である。これらの状況を踏まえて、「水難救済会と論救難所」が、平成7年に設置されたのを契機として、平成14年までに奄美群島内の全市町村に救難所が設置され、救助活動を実施している。

さらに、漁業組合やプレジャーボート関係者等を母体として組織された各地区小型船交通安全協議会の海上安全指導員は、海上における小型船による海難事故の未然防止を図るための活動を実施している。

名瀬港長（奄美海上保安部長）は、名瀬港内における船舶交通の安全及び港内の整とんを図るため、海上工事や行事許可、危険物荷役の許可、入出港届の受理などを行っている。また、海上保安部は、毎年、奄美群島の各漁業協同組合の総会に出席し、海難防止講習会を行うほか、大島支庁が実施する漁船登録の検認に同行し、漁船に対して海難防止指導を実施している。

奄美海上保安部の管理する灯台は、管内で最古の曾津高埼灯台（明治29年11月初点）を初めとする沿岸灯台18基、その他の防波堤灯台・導灯・指向灯・照射灯20基の合計38基がある。そのうち約半数は太陽電池化及びLED化されている。

また、奄美海上保安部では「海の情報」を提供する業務を行っている。平成15年2月からMICS（沿岸域情報提供システム）により、奄美群島の沿岸を航行する船舶・漁船やマリレジャーを楽しむ人々へ向けて、海の安全に関する情報（灯台で観測された気象情報、ライブ映像、海上工事の計画情報等）をインターネット・ホームページ（携帯電話を含む。）で提供しているほか、自動メール配信サービスを行い、海難の未然防止を図っている。

16-11 海難事故の発生状況

資料：奄美海上保安部

(ア) 要救助船舶隻数等の推移

項目 \ 年	平成22年	平成23年	平成24年
海 難 隻 数 (隻)	10	12	11
死 亡 ・ 行 方 不 明 者 数 (人)	1	0	1

(イ) 船舶海難の種類別内訳

(隻)

種 類	衝 突	乗 揚	転 覆	火 災	浸 水	機 関 故 障	推 進 器 障 害	運 航 阻 害	行 方 不 明	そ の 他	合 計
平 成 2 2 年	2	4	0	0	1	0	0	1	1	1	10
平 成 2 3 年	0	3	3	0	0	4	0	1	0	1	12
平 成 2 4 年	2	4	1	0	0	2	0	1	0	1	11

16-12 海上における人身事故

資料：奄美海上保安部

(ア) 人身事故者数の推移

(人)

項目	年	平成22年	平成23年	平成24年
事故者数		19	31	30
死亡・行方不明者数		11	11	15

(注) 死亡・行方不明者数は、事故者数の内数。

(イ) 人身事故の種類別内訳

(人)

年	船舶乗船中の人身事故					海浜事故				合計
	海中転落	負傷	病気	中毒	その他	遊泳中	磯遊び中	磯釣中	その他	
平成22年	1	2	0	0	0	2	1	0	13	19
平成23年	0	3	4	0	0	5	3	3	13	31
平成24年	2	5	0	0	1	3	2	1	16	30

16-13 機動力（巡視船艇）

資料：奄美海上保安部

期日：平成24年12月31日

船名	所属	総トン数	航行区域	就役年月
かいもん	奄美海上保安部	220	近海	平成16年4月
いそなみ	奄美海上保安部	149	近海	昭和56年3月
うけゆり	古仁屋海上保安署	26	沿海近海	平成21年4月
ぱるさあ	古仁屋海上保安署	4.7	沿海	平成8月3月

16-14 民間救助組織

資料：鹿児島県水難救済会

期日：平成24年12月31日

設立年月日	組織の名称	代表者	住所	救助勢力
平成7年1月31日	与論救難所	南政吾	鹿児島県大島郡与論町茶花32-1	人員 119名
平成9年1月30日	和泊救難所	伊地知実利	鹿児島県大島郡和泊町和泊10	人員 36名
平成9年1月30日	知名救難所	平安正盛	鹿児島県大島郡知名町知名307	人員 40名
平成10年7月7日	喜界救難所	川島健勇	鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地	人員 73名
平成11年8月12日	天城救難所	大久幸助	鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1	人員 60名
平成12年11月1日	伊仙救難所	大久保明	鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842	人員 102名
平成13年5月28日	龍郷救難所	川畑宏友	鹿児島県大島郡龍郷町浦110	人員 245名
平成13年12月1日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 住用支所	朝山毅	鹿児島県奄美市住用町大字西仲間111	人員 93名
平成13年12月27日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 笠利支所	朝山毅	鹿児島県奄美市笠利町大字中金久141	人員 53名
平成14年1月1日	宇検村救難所	元田信有	鹿児島県大島郡宇検村湯湾915	人員 245名
平成14年3月4日	大和救難所	伊集院幼	鹿児島県大島郡大和村大和浜100	人員 193名
平成14年4月1日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 名瀬支所	朝山毅	鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8	人員 74名
平成14年4月1日	瀬戸内救難所	房克臣	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23	人員 149名
平成14年7月1日	徳之島町救難所	高岡秀規	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203	人員 50名

※奄美市救難所各支所の上段の年月日は改組前のもの

16-15 船舶交通安全協議会

資料：奄美海上保安部
期日：平成24年12月31日

組織の名称	会員数	設立年月日	主な活動海域
奄美地区小型船交通安全協議会	50名	昭和49年12月17日	奄美大島（奄美市名瀬）
瀬戸内町小型船舶交通安全協議会	66名	昭和57年10月6日	奄美大島（瀬戸内町）
奄美群島瀬渡船安全対策協議会	12名	昭和60年7月29日	奄美大島（奄美市名瀬）
沖永良部島・和泊地区小型船交通安全協議会	40名	昭和60年7月29日	沖永良部島周辺海域
喜界島地区小型船交通安全協議会	54名	平成5年9月27日	喜界島周辺海域
与論島地区小型船交通安全協議会	50名	平成5年9月27日	与論島周辺海域

16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況

資料：奄美海上保安部
期日：平成24年12月31日
単位：基

市町村別	区分	灯台	導灯	指向灯	照射灯	計
（奄美大島）		15	1		1	17
奄美市		7	1			8
大和村		1				1
宇検村						
瀬戸内町		6				6
龍郷町		1			1	2
（喜界島）		4	1			5
喜界町		4	1			5
（徳之島）		5	1		1	7
徳之島町		2	1		1	4
天城町		2				2
伊仙町		1				1
（沖永良部島）		2	2	1		5
和泊町		1	2			3
知名町		1		1		2
（与論島）		2	1	1		4
与論町		2	1	1		4
合計		28	6	2	2	38

(注) 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会

資料：奄美海上保安部
期日：平成24年12月31日

会長名	事業所名	加入団体数	設立年月
中田留弘	奄美ダイビングセンターとめ	43	平成元年4月